

令和5年7月21日(金)
北野高校 学校運営協議会

令和5年度 第1回北野高等学校運営協議会議事録

1. 日時 令和5年7月21日(金) 14:40~15:30
2. 場所 校長室
3. 出席者 **【委員】**
PTA 会長、大阪大学量子情報量子生命研究センター特任教授
京都大学大学院教授、六稜同窓会事務局長、六稜同窓会学年理事
大阪市立新北野中学校校長
【事務局】
校長、教頭、事務長、首席2名、教務部主任、進路部主任、指導部主任
記録 2名

4. 議事次第

- (ア) 校長挨拶
- (イ) 委員自己紹介
- (ウ) 協議会会長・副会長の選出
- (エ) 授業参観に対する意見・感想
- (オ) 協議・意見交流
- (カ) 事務局の紹介
- (キ) 事務局より今年度の報告

5. 議事の経過(敬称略)

- (ア) 校長挨拶

北野高校教職員の平均年齢 43歳

北野高校の外部評価 AA(AAA~C)

ただし、評価にこだわりすぎでは適切な運営ができない。

北野高校では、授業や学校行事を通じて人格形成を目指している。

- (イ) 委員自己紹介

- (ウ) 協議会会長・副会長の選出

会長にPTA会長、副会長に京都大学大学院教授が任命(教頭)

- (エ) 授業参観に対する意見・感想

・国語科教諭が担当する古典の授業を見学。考えさせる授業展開で興味深い。数学の授業も考えさせる工夫があつて良かった。(PTA会長)

・飽きさせない工夫が多い。アクティブラーニングを意識した双方向性の授業展開。大学側も対応していく必要がある。ただし、時間をかけてじっくりと取り組まなければならないこともあるので、科目の特性や内容を鑑みる必要がある。(大阪大学教授)

・古典の授業がユニークである。授業は担当の先生個人の組み立てか、あるいは学校や教科で計画されたものかのどちらか。(京都大学教授)

>個人である。(教頭)

>北野高校では授業の相互見学が活発である。(校長)

>積極的に授業を見学しており、学びが多い。(記録)

・古典の授業では、目的が明確でよかった。興味や意欲を持たせることが大切。ペアワークの効果は？うまくいっていないペアもあるようだ。(六稜同窓会学年理事)

>席替えもある。また眠くなりにくいという利点もある。(教頭)

>大阪府が推奨している授業モデルでは、授業の目的をまず明確化し、生徒が話したくなるような(一人では答えが出ないような)テーマを設定する。そして、ペアからグループ、クラス全体の学びへとつなげることで生徒の学習が活性化する。(校長)

>大阪府の授業モデルとしてペアワークに長い歴史があるということは、効果があるということの表れであるか。(六稜同窓会学年理事)

>小学校中学校でも授業は一方通行ではない。一方通行の講義形式では、北野の生徒でも集中力が持たない。ただし発問の質は重要である。(校長)

・北野の生徒は前向き。生徒間での相互指導、ペア学習、グループ学習、全体発表のような形態を中学校でも行っている。(新北野中学校校長)

(オ) 協議・意見交流

<北野高校のスクールポリシー>

文部科学省から各学校にスクールミッションを作るようにという指示。北野高校の学校経営計画と学校評価を軸に、ミッションポリシーを作成。各学校が教育委員会とスクールミッションとスクールポリシーを作る。スクールポリシーは、卒業時にこうあってほしいというグラデュエーションポリシー、学校でどのような生徒をどのように育てるかというカリキュラムポリシー、どんな生徒に入ってほしいかのアドミッションポリシーの3つがある。北野高校のミッションポリシーでは、アカデミックで自由闊達な校風のもと、文武両道の実践を大切にする中で、知・徳・体のバランスが取れ、豊かな人間性と心身のたくましさを備えた生徒を育み、国際人として真のリーダーたる人材を輩出することをめざしている。

7月21日に、北野高校のスクールミッションが大阪府教育委員会のホームページにアップ。全校集会で、自分の力を自身のためだけでなく、社会のために使うことの大切さを話す予定。(校長)

>スクールミッションについて、「140年の歴史」のように、長い歴史を示す表現の具体性は必要ないのではないか。評価管理に固執しすぎないようにしていただきたい。(六稜同窓会事務局長)

>気をつけている。(校長)

(カ) 事務局の紹介

(キ) 事務局より今年度の報告

【教務部】

教科書採択は例年通り。1・2年生は新カリキュラム、3年生は旧カリキュラム。

公正公平な観点をもち、教科書選択の理由(どんな力をつけさせたいか)を明確化・共有。6月に教科会議、7月6日に教科代表会議で教科書の採択を確認。その後教育委員会に提出。指導書の数なども適切で、費用をおさえている。(教務部主任)

【指導部】

- ・六稜祭は今年度から2日制。文化的活動を活性化したいという生徒自治会の要請が契機。教員の働き方などの調整もでき、生徒からも高い満足度。
- ・欠席や遅刻に関しては、全校集会で伝達予定。
- ・ジェンダーの観点から、次年度より制服を変更。一昨年度に検討委員会を教職員で立ち上げ、議論を重ねて制服を変えることに決定。制服を着て苦痛な思いをする生徒を減らすねらい。昨年度末にメーカーを4社の中から決定し、制服の生地については、デザイナーからの2パターンを対象に、生徒教職員に対してアンケートを取った。今後は制服規定を検討し、9月の半ばには校則も決定する予定。制服の写真と資料を協議会にて共有。
- >制服に関してジェンダーで配慮した点はどこか。(京都大学教授)
- >性差を感じないようにしている。パンツスタイルやボタンにも工夫。男女ほぼ同じデザインだが、個人の体型によって調整可能になるように配慮。また、昨年度人権研修を実施。LGBTQ・性差で苦しんだ方の経験談を生徒と教職員が学んだ。(指導部主任)
- >許容力・寛容性を生徒と教職員が持つことは大切。先進的な取り組みである。
- >北野高校の新制服が新北野中学校と似ている。新北野中学校でも次年度より制服を変更予定。(新北野中学校校長)

【首席】

- ・7月25日から台湾研修。
- ・秋からは台湾の大学付属高校が本校を半日訪問予定。
- ・オーストラリア研修は現状オンラインの予定。
- ・シアトル研修は年度末に訪問希望しているが、現状では調整中。次年度持越しも。
- ・デンマーク研修を3月末にシアトル研修の代替案として行う。10名程度の1年生でホームステイ。研修で学んだことを2年時の課題研究に寄与するねらい。次年度は現地校の生徒が北野高校を訪問するという相互交流を行う予定。(首席)

【進路部】

- ・進路結果の報告。平成30年度からの経年比較。昨年の傾向は例年並み。一昨年度はよかったが、これは共通テスト難化の影響である。難易度が高いと差が出やすい。
- ・昨年度の卒業生はメンタル面でのサポートを必要とする割合が多かった。全国共通であるためコロナの影響か。卒業生の3分の2が第1志望に合格し、3分の1が大手予備校などで第1志望合格をめざして勉強中。
- ・他校では3年時の大学進学に関する進路相談の比率が高い一方、北野高校では3年生以前の科目選択関連の質問が多い。科目の得意不得意も大切だが、興味関心を大切にするように説明。科目選択の際はGoogle Formでアンケートを行う。

令和5年7月21日(金)
北野高校 学校運営協議会

・文系理系の決定に関する悩みも多い。3年生から1年生へのメッセージを配布資料に掲載。

【その他】

- ・学校への意見書の提出はない。(教頭)
- ・次回の会議は10月ごろに行う予定。詳細はメールで連絡。(教頭)